



環境省

地方公共団体の グリーン購入・環境配慮契約実施のための 取組支援事業



● 組織的に取り組むには・・・

グリーン購入調達方針や環境配慮契約方針を策定することが有効

● ところが・・・

地方公共団体の方針策定率

グリーン購入調達方針・・・26.3%

環境配慮契約方針・・・8.6%

方針策定時の課題

- 人員不足
- 参考情報の不足
- 調達コスト増加の懸念

方針策定のために必要な支援

- 方針策定のための情報提供
(マニュアル、手順書、仕様書例、
他団体の事例等)

● 導入・実施を促すために・・・

- 実務支援者*を派遣
- 方針策定や見直し等の実務を支援
- 平成26年度から実施

*グリーン購入法及び環境配慮契約法に関する知識または経験を有する者

目的	グリーン購入及び環境配慮契約の取組の支援
対象	地方公共団体（広域的に取り組む複数の地方公共団体も可）
支援内容	<p>支援団体の要望に対応 （支援例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調達方針や契約方針の策定 ・調達方針や契約方針（品目・基準等）の見直し ・調達実績を把握するための手法の構築・導入 ・他の部署・担当者に周知するための手引書の作成 ・職員向け説明資料の作成、説明会の実施 ・域内の市町村の調達方針や契約方針の策定の補助
支援方法	<p>実務支援者が訪問し、現状や課題を把握した上で、担当者、関係部署等と協議し、他団体の事例を紹介しながら、導入・発展に向けたプロセス、取り組みを支援する。</p> <p>期間中、3回程度の現地訪問と必要に応じて電話やメール等でのやり取りを行う。</p>
期間	11月～翌年3月（令和6年度実績）

これまでの支援事例



	支援内容	支援団体
グリーン購入	調達方針・手順書等の新規作成	愛荘町、近江八幡市、甲賀市、本庄市、瀬戸市、大和町、渋川市、日高市、小田原市、阿波市、土佐町、国立市、豊中市、栃木市、川越市、光市、習志野市、浅川町、木更津市、函南町、南足柄市、阿南市
	方針の見直し	川口市、秩父市、石巻市、函館市、旭川市、八千代市、船橋市、草加市、足利市、浦安市、世田谷区、八尾市、新居浜市、郡山市、古賀市、取手市、柏市、鎌倉市、堺市、帯広市
	職員研修	石巻市、横浜市、大和町、郡山市、足利市、栃木市、習志野市、取手市、木更津市、函南町、南足柄市、阿南市
	県内市町村の調達方針新規作成	高知県
環境配慮契約	方針の新規作成・検討	松戸市、深谷市、千葉市、旭川市、日高市、八千代市、船橋市、つくば市、豊中市、新居浜市、郡山市、調布市、越谷市、会津若松市、帯広市
	方針の見直し	佐賀市、新潟市、小田原市、宝塚市、国立市
	職員研修	新潟市、つくば市

- **各商品分野の調達状況の把握（担当課・調達方法、実績把握等）**
- **周辺状況の把握（他団体の事例、都道府県内市町村の策定状況等）**
- **関係課との協議（環境、財政、契約等）**
- **事業者への照会（想定する基準への対応状況）**

例：

- ✓ 自動車購入・賃貸借に総合評価方式当てはめると価格を逆転していないか？
- ✓ 植物油インキはコストアップにならないか？
- ✓ 現在調達している封筒の古紙パルプ配合率は？

- **調達方針・運用方法の検討（範囲、基準、調べ方、実績把握方法等）**

例：

- ✓ 品目数をどこまで広げるべきか？
- ✓ グリーン購入法の基準のとおりとするか、環境ラベルを採用するか？
- ✓ 商品の調べ方を各課担当者へどう周知するか？
- ✓ グリーン購入の記録を調達フローにどう盛り込むか？

- **各契約類型の契約状況の把握（担当課・契約方法、実績把握等）**
- **周辺状況の把握（他団体の事例、県内自治体の策定状況等）**
- **関係課との協議（環境、財政、契約等）**
- **事業者への照会（想定する基準への対応状況）**

例：

- ✓ 裾切り基準（環境配慮契約－電力）に当てはめると何点か？
- ✓ 契約電力量（環境配慮契約－電力）、入札に参加しやすい範囲は？
- ✓ 自動車購入・賃貸借に総合評価方式当てはめると価格を逆転していないか？

- **契約方針・運用方法の検討（範囲、基準、調べ方、実績把握方法等）**

例：

- ✓ どの契約類型で環境配慮契約を実施するか？
- ✓ 環境配慮契約の対象とする契約規模をどこにするか？契約を集約するか？
- ✓ 地域要件など独自の基準を設けるか？
- ✓ 各課担当者にどう周知するか？

- **取組状況の診断とアドバイス**
- **他の地方公共団体の取組事例の情報提供**
 - ✓ 調達方針、契約方針
 - ✓ 調達実績、契約実績の集計書式
 - ✓ 調達方針策定、契約方針策定を庁議へ諮るための書式・内容
 - ✓ 入札仕様書
- **グリーン購入法の特定調達品目の判断基準、環境配慮契約法の各契約類型の解説**
- **関係部署との協議（実務支援のミーティング内）**

例：グリーン購入調達方針を新規に策定する場合

初回	<ul style="list-style-type: none">• 現状把握 （品目毎の購入方法（一括・個別）、購入担当窓口、購入決裁手順、品目毎に参照している情報（カタログ、ホームページ等）、発注仕様書の記載内容、実績把握の有無等）• 支援内容の確認• 次回までの作業内容、スケジュールの確認
2回目	<ul style="list-style-type: none">• 1回目の打ち合わせ内容の確認• 調達方針（案）、運用・周知方法等の検討• 次回までの作業内容、スケジュールの確認
3回目	<ul style="list-style-type: none">• 調達方針（案）の修正事項の反映確認• 職員研修

以下のような課題をお持ちの地方公共団体の皆様に御利用いただきたい事業です。

- グリーン購入及び環境配慮契約の方針を作成したいが、方法がわからない。
- 仕組みが形骸化していて、実績を上げる運用方法に変えたい。
- 地域循環共生圏や地方公共団体実行計画等、他の計画と関連づけた策定・見直しを行いたい。
- 地元の産業育成や他の施策と絡めたグリーン購入に取り組みたい。

グリーン購入や環境配慮契約の取組の新規導入、更なる取組の活性化を図る際、本事業の活用を検討いただけますと幸いです。

なお、過去の支援事例は、環境省のホームページに掲載しています。

環境省ホームページ：取組支援（令和5年度）

<https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/net/support.html>